

JFA 「style-arena」 Report 2013 SPRING

今や世界のファッション業界から熱い視線を集める“東京のストリートファッション”。日本ファッション協会のファッションサイト「style-arena.jp」(<http://www.style-arena.jp/>)は、若者のファッションを牽引する「渋谷」「原宿」「表参道」「代官山」に「銀座」を加えた5地点における“東京のストリートファッション”を、10年にわたって世界に紹介してきました。現在、「style-arena.jp」は毎月400万ページビューのアクセスがあり、その半分強は海外からの訪問者となっています。この「style-arena.jp」から、2013年春のファッションレポート「TOKYO STREET STYLE」(No.004)をお届けします。

●今回の内容

- I. 2013年春のストリート別ファッションの特徴
- II. 2013年春のストリートファッション傾向

I. 2013年春のストリート別ファッションの特徴

HARAJUKU



OMOTESANDO



GINZA



SHIBUYA



DAIKANYAMA

●HARAJUKU／KEYWORDS：個性的・可愛い・美容師・古着

東京のスタイルをリードする原宿は、東京で一番奇抜なファッションで、髪型や小物、古着などで強く個性を表現する若者が多く見られます。

2013年の春も、ガーリーやサロンスタイルのファッションが代表的です。

- ガーリー／GIRLY STYLE：ピンクや淡い色使いで、少女をイメージした可愛いファッション。
- サロンスタイル／SALON STYLE：原宿には、オシャレ感度が高い美容師が多くいて、シンプルなサロンスタイルといったファッションも定着しています。
- ワカメちゃんスタイル／今増えているのが、ご存じの漫画『サザエさん』に登場する磯野ワカメ（9歳）ちゃんから名付けられたスタイルで、フレアのミニスカートに、裾をタックインして着るトップスの着こなしが特徴です。

●個性的な原宿ファッション





● SALON STYLE



● GIRLY STYLE

● WAKAME-CHAN
STYLE



● 原宿ファッションのバイブル

個性を発揮する彼らが参考にしている原宿のストリートスナップ誌

男性ファッションは『TUNE』

女性ファッションは『FRUiTS』 <http://www.fruits-mg.com/>

● 青文字系雑誌

ガーリーな彼女たちが参考にするのが、下記の青文字系の雑誌。ただし、表紙のタイトルは青文字ではありません。渋谷の赤文字系雑誌との区別から名付けられました。

青文字系のファッションは、男性に媚びないガーリーでカジュアルなファッション。10代後半から20代前半の支持層が中心です。

『Zipper』 <http://www.zipper.jp/>

『mina』 <http://mina.shufunotomo.co.jp/>

『SEDA』 <http://hinode.co.jp/>

『CUTIE』 <http://tkj.jp/cutie/>

●SHIBUYA/KEYWORDS : 流行・セクシー・アイメイク・明るめパーマ

渋谷は、東京で一番流行に敏感な人が集まっている街。そのために、流行のブランドに集中しすぎる結果、よく似たスタイルが多く見受けられます。

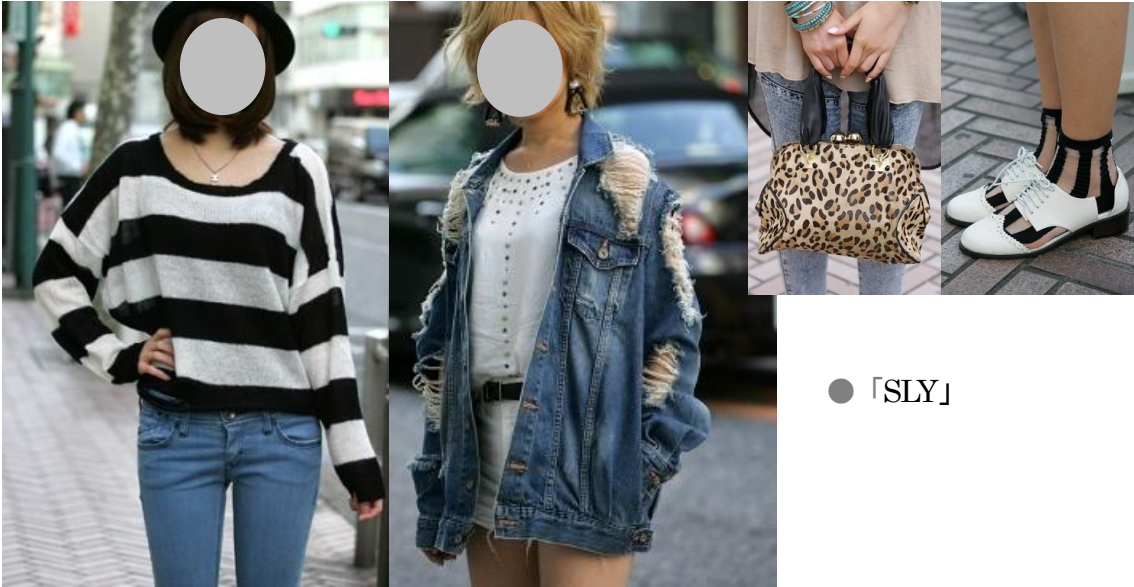
- 赤文字系ファッション：渋谷を代表するファッションは、主にコンサバファッションや男性受けするエレガントなファッションで、『CanCam』『JJ』『ViVi』『Ray』『PINKY』の5つの赤文字系雑誌のスタイルから名付けられています。
- 黒文字系ファッション：赤文字系ファッションより、柔らかさが抜けたカッコ良いファッションである「黒文字系ファッション」も渋谷のもう一つの流れ。
『JELLY』『BLENDA』『SCawaii!』『nuts』などの、題字が黒文字の雑誌に代表されるスタイルで、文字通り“黒”が多用されています。
- 渋谷の人気ブランド：「moussy」、「SLY」、「EMODA」の3ブランドが継続して人気。これらのギャルブランドに、「H&M」、「FOREVER21」、「ZARA」などのファストファッションを組み合わせる人が多く、そのため、同じような印象になってしまうのです。

●赤文字系ファッション



●黒文字系ファッション

● 「moussy」



● 「SLY」

● 「EMODA」



●OMOTESANDO/KEYWORDS : モード・ハイファッション・スマート/シンプル

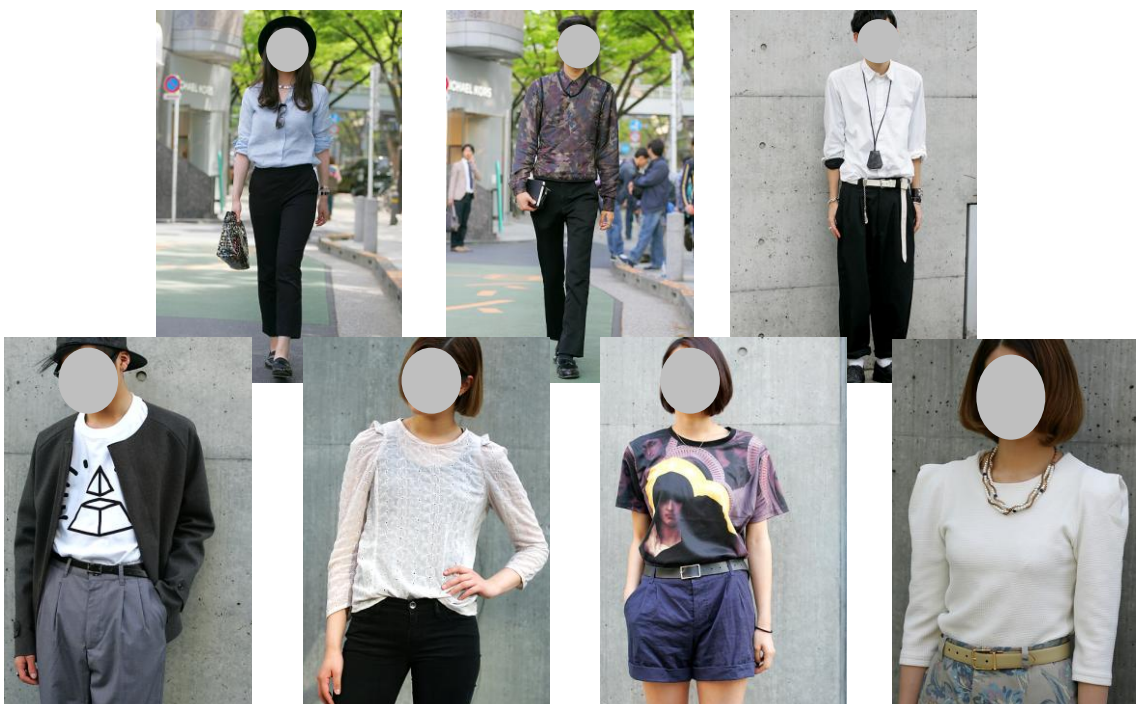
表参道は、原宿にとっても近い地域ですが、ガーリーなスタイルは見られず、スマートで大人っぽいファッションに変わります。黒や白、モノトーンなどで決めたモード系のファッションが特徴です。

●タックインスタイル：表参道でも、トップスの裾をボトムの中に入れるスタイル、タックインが増加中。素材感や着心地が重視されてシンプルなアイテムが増えたため、着こなしを工夫する人が増えているのでしょう。

●MODE STYLE



●TUCK IN STYLE



●DAIKANYAMA/KEYWORDS : 大人・斬新・流行に流されない・インパクト・古着

代官山は、原宿を卒業した 20 代半ばから後半の、洗練されてオシャレな方が現れます。原宿に飽きた、大人のオシャレさんが訪れるのが代官山なので、流行に流されず、一つのブランドにもこだわられません。結果、ファッションにお金をかけることになり、身に付けたファッションの総額が 10 万円以上の人が多く見受けられます。

●大人のオシャレさん



●GINZA/KEYWORDS : 上品・セレブ・サングラス・ラグジュアリーブランド

銀座は、上品でセレブな雰囲気を持った人が多く歩いています。ラグジュアリーブランドのバッグや時計を身につける一方で、ほとんどの人がファストファッションをMIXして、全体を構成しています。



II. 2013年春のストリートファッション傾向

2013年春、東京のストリートファッションにおいて目立った傾向を紹介します。

- トレンド 1:「柄パンツ」
- トレンド 2:「ストライプ」
- トレンド 3:「スニーカー」「インヒールスニーカー」
- トレンド 4:「ベースボールキャップ」
- トレンド 5:「クラッチバッグ」
- トレンド 6:「イージーパンツ」
- トレンド 7:「ショップコート」
- トレンド 8:「チョーカー」
- トレンド 9:「ネオンカラー」
- トレンド 10:「赤リップ」

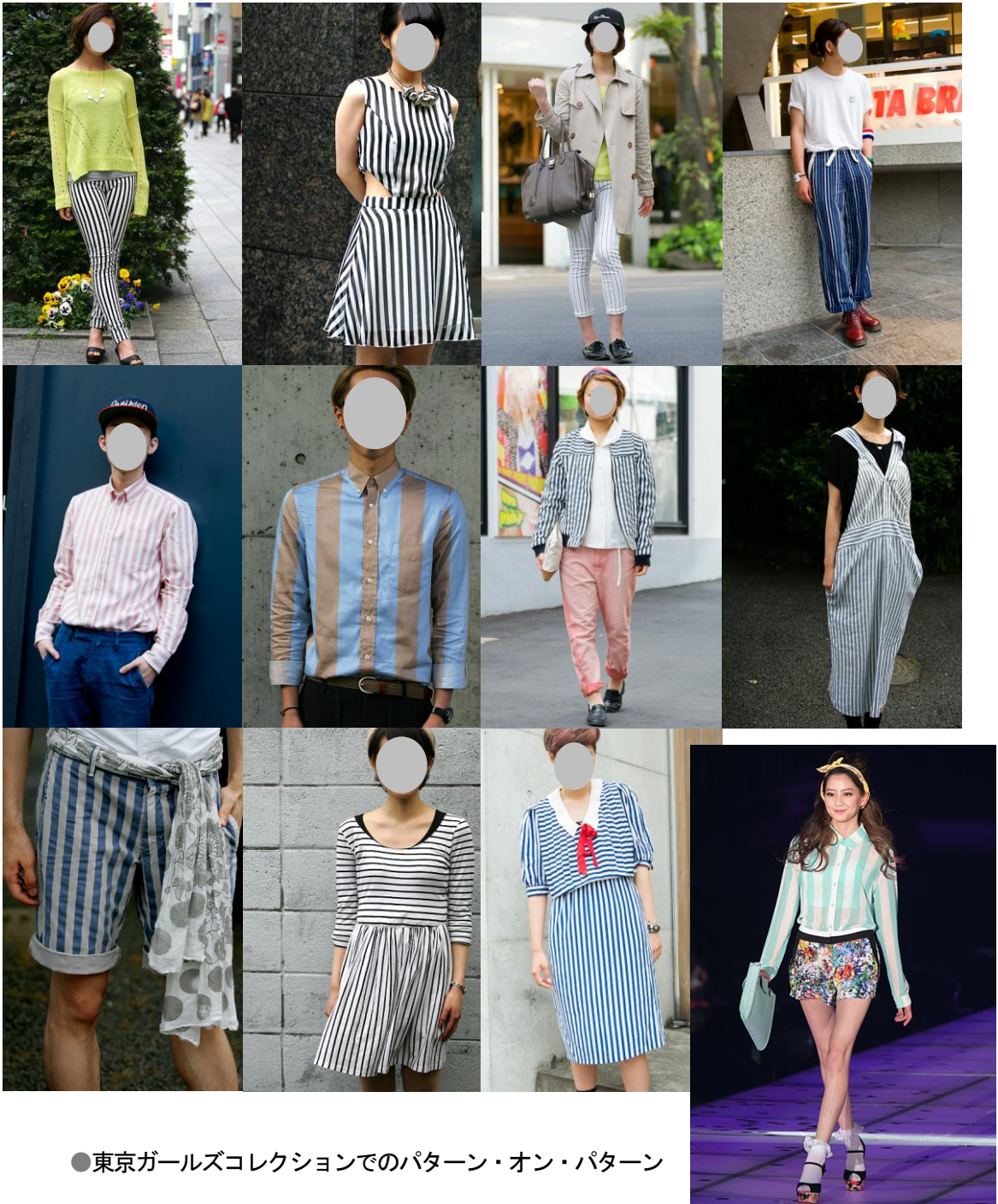
●TREND1: 柄パンツ/PATTERN PANTS

- 今年の春は、多彩な柄のパンツがストリートファッションを賑わせました。例えば、花柄、ドット、ギンガムチェック、ペイズリー…など。その中心になったのが、やや太めのストライプのパンツです。



●TREND2 : ストライプ／STRIPE

●春のストライプは、パンツにとどまらずトップスにも広がり、メンズでもブレイクしました。その上、柄と柄を組み合わせるパターン・オン・パターンが今シーズンの特徴。縦・横のストライプの組み合わせや、ストライプと花柄の組み合わせなどは、ファッション上級者しかできないテクニックですが、ストライプに好きな柄物を合わせて自分なりのスタイルを求めるといふ提案を、今シーズンのコレクションやメディアで提唱した結果、このようなスタイルがストリートに出現したのでしょうか。



●東京ガールズコレクションでのパターン・オン・パターン

●TREND3 : スニーカー、インヒールスニーカー／SNEAKERS、IN HEEL SNEAKERS

- スポーツ系のファッションを取り入れる人が増えているため、ローテク・スニーカーと言われる、昔からの定番として各メーカーから出ているスニーカーが ブームとなっています。このキャンパスのスニーカーは春夏シーズンだけのものと思われていましたが、現在では一年を通して見かけるアイテムとなりました。

ローテク・スニーカーという呼び名は、1990年代に大流行した、最先端の素材・技術を用いて作られた「ハイテク・スニーカー」に対して登場しました。

- ローテク・スニーカーは、シンプルなデザインのため、洋服と合わせやすいことが特徴で、ジーンズをはじめ幅広いアイテムと相性が良く、見た目にかわいらしさや温かみがあるため女性にも人気があります。
- ローハイ・スニーカーと言われるスニーカーも、女子を中心にじわじわと人気です。このスニーカーは、見た目はシンプルですが、靴底部分にエアが入っているのでクッション性があってホールド感もあり、程良いボリュームなので洋服に合わせやすいものです。こちらも、女子を中心に人気が高まっています。

●LOW-TECH SNEAKERS



●HIGH-TECH SNEAKERS



●LOW-HIGH SNEAKERS



- ストリートで人気のスニーカーの中でも一番人気は「CONVERSE」。手ごろな価格と商品ラインの豊富さから No.1 (164 件/style-arena 撮影者調べ) の着用率でした。



- No.2 (104 件) のスニーカーは、王道?の「NIKE」。かっこいいロゴも魅力です。



- No.3 (60 件) のスニーカーは「VANS」。サーフ系のスニーカーとして、シンプルなキャンバススニーカーがコーディネートへの汎用性と手ごろな価格から、最近人気急上昇。



- No.4 (58件) といっても3位と差のない「New Balance」。ランニングシューズを起源とした優れた機能性から根強いファンが世界中に存在します。さらに、どんなコーディネートにも合わせられる汎用性も人気。デニムなどのカジュアルスタイルやコート、ジャケット、スラックスなどのキレイ目スタイルにも対応できます。



- この春、欠かせないのがインヒールスニーカー。海外セレブでの人気から日本にもブームがきて、夏にも継続しています。立ち姿が綺麗で、美脚効果があり、ブーツに比べて軽くてはきやすいという、三拍子そろったスニーカーです。ストリートばかりでなく、普段ヒール靴を履いている女性にも違和感がなく、10~40代まで幅広い年齢層の支持を集めているそうです。



●TREND4 : ベースボールキャップ／BASEBALL CAP

- ストリートで、2012 年秋にブレイクしてから継続して人気が高いのがベースボールキャップです。デザインとしては少年らしいつばが大きいめのベースボールキャップが男女問わず浸透しています。

今のストリートでは、キメすぎないことがオシャレとされるので、こういった野球帽は“外し”や“抜け”が演出できる最も旬なアイテムとして活用されています。

一番よく見かけるブランドは、相変わらず「New Era」、ついで「Supreme」です。



● 「New Era」

● 「Supreme」



●TREND5 : クラッチバッグ／CLUTCH BAG

●今年の春もとても人気が高かったのがクラッチバッグです。クラッチバッグがストリートファッションに登場したのは去年の春からですが、1年以上経っているのに未だにブームとして勢いがあります。

昨年くらいから、どのブランドもクラッチバッグを出すようになり、ファッション誌でも紹介されていますので、今年に入ってから動きが加速しています。

クラッチバッグは、機能性や知性を兼ね備えていて、手や脇に抱える姿も、女性を綺麗に見せる事ができるといわれます。そのためか、ストリートでは“持ち方”への関心も高く、ある女性誌では、トートバッグでも、折りたたんで持つ“クラッチ持ち”を推奨したりもしています。

メンズでは近頃人気低迷していましたが、女性たちの中で人気が高まるにつれて、男性の間でも復権しました。さらに、現在のスマホ、タブレット時代との相性がよく、現在の生活スタイルに合っているのでしょう。



●クラッチ持ちのハンドトート



●タブレットケースとクラッチバッグの類似の関係



●TREND6 : イージーパンツ/EASY PANTS

- この春から急激に着用率が伸びた「イージーパンツ」。ウエストにはゴムやひもで締めるものが多く、生地は柔らかい素材のものが一般的。キャップと同じくキメすぎないオシャレなコーディネートを作れるので、原宿の若者を中心に人気を博しました。イージーパンツは、シャツやカットソーを合わせてさらりと着こなすだけで、涼しげで爽やかな印象を演出できる点も人気。ただ、元々がリラックスウェアだっただけに、オシャレに着こなすには少しばかりのテクニックが必要です。きちんと感がでるシャツや薄手のジャケット、コートを合わせる他に、ヘアアクセサリや肩掛けをしたりしてアクセントを入れて、部屋着感を出さないようにするのがオススメです。



●シャツやコートとの組み合わせ



●肩掛けを合わせた着こなし



●TREND7 : ショップコート/SHOP COAT

- 「ショップコート」(別名スプリングコート)がストリートで春のアウトターの本命になりました。ショップコートは、元々「ワークコート」からきていて、工場などで仕事をしている人が、急な必要の時に、作業で汚れた服の上から羽織るためのものでした。それから、様々なお店のスタッフが着用していたことからその名が付いたそうです。元が制服なだけに、全体としてカジュアルに寄り過ぎない独特の雰囲気魅力となっています。ショップコートはここ数年の中で今季が最も旬。主に白、ベージュ、ネイビーのベーシックカラーがほとんど。形は、チェスターコートやステンカラーと言われるデザインのショップコートが多くて、特に男性中心に流行ったアイテムでした。今、アウトターやトップスはジャストサイズで着るよりも少しオーバーサイズ気味で着るのが流行っているため、ショップコートも少しゆったり目に着ています。着丈はひざ丈ぐらいが主流です。



●ベーシックカラー&ゆったり目

●TREND8 : チョーカー／CHOKER

- 若い女性から注目を集めているアクセサリが「チョーカー」。これは90年代に流行ったアイテムですが、今年、女子の首元のおしゃれに欠かせないアイテムとなりました。ストリートにチョーカーが出始めたのは昨年ですが、今年の春先からじわじわと人気が高まりました。火つけ役は、芸能人もこぞって通う原宿の古着屋、BUBBLES (<http://www.style-arena.jp/shop/dt/3/927>) です。



- さてこのチョーカーですが、90年代は、現在タトゥーチョーカーといわれているテグスがくるくると丸く巻いたような チョーカーが主流。現在人気なのは、映画レオンのマチルダのような、太めのチョーカーに金具のモチーフが付いているタイプです。チョーカーは、Tシャツ、ニット、ワンピース…など、何にでも合わせられる万能アクセサリとして評価されています。



●TREND9：ネオンカラー／NEON COLOR

- 昨年はシャーベットカラーが流行りましたが、今年は黄色を中心にしたネオンカラー（蛍光色）がトレンドです。欧米では強烈な色がそのまま歓迎されましたが、日本は少し地味。そしてシンプルに組み合わせるのが基本です。例えば、ネオンカラーのトップスにベーシックカラーの細身のパンツやタイトスカートに合わせて、少しシックに。「ネオンカラーの洋服はやっぱり派手すぎてちょっと…」という方は、さりげなく靴、靴下、バッグなどで取り入れています。モノトーンのシックな装いに靴や鞆がネオンカラーだと、オシャレ度もアップします。ネオンカラーといっても、黄色、ピンク、青、緑と色々ありますが、やはり黄色やピンクが合わせやすいようです。



●TREND10 : 赤リップ／RED LIP

- 昨年の秋冬からブームとなった、赤リップ。 今年も季節を問わず人気です。赤リップの人気の理由は、顔を明るく見せて、華があり、存在感があり、女子力が高く、そしてセクシーだから。定番化してしまいがちな毎日のメイクのなかで、スパイスの役割を果たしています。



「style-arena.jp」 情報サービスにつきまして

東京のストリートファッションを紹介する2013年春のファッションレポート(No.004)は、お楽しみいただけただけでしょうか？

一般財団法人日本ファッション協会では、東京のストリートファッションを世界に紹介するために、10年にわたってファッションサイト「style-arena.jp」(<http://www.style-arena.jp/>)を運営しておりますが、本レポートを機に、ストリートファッション情報を積極的に提供させていただくことにいたしました。

「style-arena.jp」でご紹介しているファッション情報／画像ならびにアンケートに関しまして、下記サービスをご提供しておりますので、お気軽にご相談ください。

●東京のファッションリーダーたちの画像提供

- ◇ストリートでの撮影時に、御社に合わせた写真撮影／2次使用承諾取り付けが可能です。
- ◇10年以上の歴史がある「style-arena.jp」では、信頼のおけるストリートファッションの人选が行えます。また、個人情報保護法に基づいて、安全な承諾をとっています。
- ◇当コンテンツの2次使用ではなく、御社に合わせて新たな撮影も可能(ex.おすすめの時計を着用してもらう等)です。

●東京のファッションリーダーたちへのアンケート・リサーチの実施

- ◇毎週30人、月間150人程度の質の高いマーケットとの接点を持ち、御社の要望に合わせたアンケート実施が可能です。対面アンケートというインターネットリサーチには無い、信用度の高い調査を代行いたします。

●カスタムレポートの制作

- ◇現在、シーズン傾向をまとめた本レポートの他に、特定アイテムの「SHOES」「BAGS」2編のレポートをご提供しています。

ご要望により、御社が希望される特定アイテムに限ったレポートを定期制作いたします。

JFA 「style-arena」 Report 2013 SPRING

一般財団法人日本ファッション協会
企画事業部情報発信事業
2013年8月発行
ご相談窓口 : info@japanfashion.or.jp